

## 「鼻出し・あごマスク運動」について

木原功仁哉法律事務所

弁護士 木原功仁哉

TEL：06-6809-2562

E-mail：info@kihara-law.jp

### 1 最近の活動

反ワクチン訴訟対応、情報公開請求（ワクチン被害）、街頭活動（神戸市内）、無料法律相談 など

### 2 法律相談（マスク強要）

①日常的に鼻だしマスクをしている契約社員に対する雇止め

②施設に入っている親が、マスク着用によって呼吸に支障が生じている（マスク不可との診断書あり）のに施設側がマスクを取らせない

③学校（高校・幼稚園）で子供がマスク着用を余儀なくされている

⇒法律上、マスク着用義務はない（感染拡大防止努力義務に過ぎない：新型インフル特措法 4 条 1 項）

⇒協力・要請・奨励などの「お願いベース」に過ぎないのに、同調圧力によってあたかも「着用義務」に格上げされている

### 3 鼻出し・あごマスク運動

#### (1) マスクの弊害

軽い酸欠状態、熱中症の原因、マスク接触による皮膚炎、マスク内の雑菌繁殖、コミュニケーションの障害（子供の成長に支障） など

#### (2) 医学論文等

・マスクにより酸欠状態になり SpO2 が低下する(PMID:18500410)

・マスクの使用とインフル感染の予防効果を示した研究は存在しない(PMID:22188875)

・感染リスクを減らすマスクの有効性を支持するエビデンスはほぼ皆無である(PMID:20092668) など

⇒健康な人がマスクを着用すべきだと判断するには十分な証拠はない（WHO、令和2年5月まで）

#### (3) なぜ、今すべき運動なのか

感染爆発とされている今だからこそ免疫力を高め、体を強くするためにマスクを外すべきです。

「鼻呼吸こそが天然のマスク」と言われます（元岡山大学病院・岡崎好秀さん）。マスクをすると無防備な口呼吸になりウイルス侵入の危険度が増します。また、うがい薬等の多用により過度な消毒をして無菌状態を続けると免疫力が低下します。

#### (4) 運動の目的

・武漢ウイルス（新型コロナウイルス）騒動に懐疑的であるとの意思表示のため

⇒鼻出し・あごマスク人数が増えることで、行政に対する無言の圧力になりうる

・反 PCR 検査運動と併せて「反コロナ」運動を推進するため

⇒何ら科学性のない PCR 検査さえ受けなければ、「武漢ウイルス患者」は発生しない

### 4 添付資料

・木原くにや通信 第3号（R3.8.10）

・「鼻出し・あごマスクを励行しましょう」（R3.8.14）